

南木曾町と名古屋外国語大学との単独インターンシップ事業

主催：南木曾町 共催：(公財)妻籠を愛する会 協力：名古屋外国語大学

期間 令和元年8月1日 及び 8月22日～27日(6日間)

○名古屋外国語大学 世界共生学部

名古屋外国語大学 世界共生学部 世界共生学科 2年生 4名

名古屋外国語大学 世界共生学部 世界共生学科 3年生 1名

○協力先

理事長 藤原 義則 公益財団法人妻籠を愛する会

○事業の計画

・インターンシップ研修事業

事前学習 8月1日(木)

8月22日～27日(5泊6日)外国人観光客等へアンケート調査、地域行事へ参加、南木曾町への移住者への聞き取り

※2018年度は妻籠宿を主体に観光客の動向についてアンケート調査を行ったが、2019年度は妻籠宿だけでなく、南木曾町全体を学び、妻籠地区以外を対象としたアンケート調査を実施した。また、南木曾町へ移住した方や起業した方への聞き取り調査を行い、新たな南木曾町の魅力発信について研修を行った。研修の成果をまとめ、2月に南木曾町において研修報告会を行う。

○結果

- ・アンケート実施数25件(日本語・英語・スペイン語にて実施)
- ・アンケートの結果、イタリア・スペイン等の欧米の外国人観光客がほぼ半数を占めていた。また、妻籠宿の知名度は高いが、南木曾町の知名度は低い結果が出された。
- ・住民への聞き取りにより、妻籠宿が海外から注目を集めており、外国人観光客が増えている実感を抱いているが、住民や観光地、宿泊施設など外国人対応への備えができてないことがわかった。
- ・研修の結果から、世代やルーツを越えた住民同士が意見交換をする機会が少ないこと、住民の方向性が地域によって異なることが課題としてあげた。